

仙台市中央卸売市場再整備検討委員会設置要綱

(令和5年3月27日市長決裁)

(設置)

第1条 仙台市中央卸売市場の再整備に係る基本的な構想を定める仙台市中央卸売市場再整備基本構想（以下「基本構想」という。）及び当該再整備に係る基本的な計画を定める仙台市中央卸売市場再整備基本計画（以下「基本計画」という。）を策定するにあたり、有識者等の意見を反映させるため、仙台市中央卸売市場再整備検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、基本構想及び基本計画に係る次の事項について協議を行う。

- (1) 市場の再整備及び再整備後の市場（以下「新市場」という。）に係る構想に関すること
- (2) 新市場の敷地の利用に関すること
- (3) 新市場における施設の規模、機能、配置、設備等に関すること
- (4) 新市場の内部の各用途に関すること
- (5) その他市場の再整備に係る必要な事項に関すること

(構成)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって構成する。

2 委員は、学識経験者その他市長が必要と認める者のうちから、市長が委嘱する。

3 委員の任期は、委嘱の日から基本計画の策定の日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員長は、委員会の会議を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、経済局中央卸売市場管理課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(実施期日)

1 この要綱は、令和5年4月1日から実施する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、基本計画の策定の日限り、その効力を失う。